

音楽活動を通して成長する学生たち

笹谷ゼミでは、「まずは大人が音楽を楽しむこと」をモットーに、学生たちが実際に音楽を奏で、学生たちの音楽的経験値を増やすことを目的に活動しています。保育現場での子どもたちとの音楽表現活動は、特に保育者の表情が大切になってきます。気持ちと表情は直結していますので、保育者が、音楽を楽しみ、表情が和らげば、子どもたちは安心して楽しみながら音楽活動を行うことができます。また、楽しむためには、保育者の音楽的経験値の豊富さも必要になってきますので、楽しむ心と音楽的経験向上のバランスを取りながら、学生たちと活動しています。

近年は、学生たちがゼミで取り組んでみたいことを持ち寄り、それをみんなで実現させるという音楽活動を続けています。音楽は人間のコミュニケーションの延長上にある分野だと考えているので、みんなで沢山のアイデアや意見を持ち寄って試行錯誤しながら一つのものを作り上げていく経験を重視しています。友だち同士の優れた才能を発見し学生同士で認め合い、苦手なことは助けあう中で、興味深い音楽活動となり、毎年違った素晴らしい音楽が生まれています。



2020年度からは、ゼミ所属学生たちと共に、ペットボトルで作る楽器「コカホン」制作・演奏に取り組みました。

コロナ禍で、様々な制限を受ける中、どのような音楽活動が出来るのかゼミ生たちと話し合い、このような時だからこそ、どうしてもみんなで協力しあって一つのものを作り上げる活動がしたいという、学生たちの強い思いから活動がスタートしました。

コカ・コーラ社のペットボトルを集めるところから開始し、数ヶ月で完成しますが、演奏中に劣化したり、演奏に不都合な箇所が出てきたりしたため、更に改良を重ね8ヶ月ほどを要し2代目を作成させます。手作り楽器ですので、演奏可能音域も限られるため、楽譜制作も学生たちが自ら行いました。調律は、当初は演奏前に1時間を要していましたが、卒業制作発表会の直前には、10分ほどで調律可能なところまで技術を習得しました。



演奏練習も本当によく頑張り、先日の卒業制作発表会では、素晴らしい演奏を成し遂げましたので、コロナ禍でより身近になったYOUTUBEへの動画投稿にもチャレンジし、ゼミ生たちの演奏をYOUTUBE上でご覧頂くことが可能です。

<https://www.youtube.com/channel/UCrJidSm42ir3ZfV1WrYSOGA>



保育現場では、楽器を手作りで制作する活動は頻繁に行われますが、これらを楽器として使用し、音楽活動につなげていくことは残念ながら多いとは言えないのが現状です。学生たちのこのような体験が、将来、保育現場での子どもたちとの音楽表現活動のヒントになってくれることを願っています。